

医師研修受け入れ

2病院に感謝状

国連ボランティヤ

国連ボランティヤ(UN
V、事務局・ボン)計画に
基づき昨年十二月、ロシア
の二医師の研修を岡山市内
の二病院が受け入れたこと
で、ブレンダ・マックスウ
イニー事務局長が九日、同
市を訪れ、病院長らに感謝
状を手渡した。国連ボラン
ティヤから感謝状が贈られ
るのはわが国で初めて。

マックスウイニー事務局
長は岡山市桑野、岡山ふれ
あいセンターで、受け入れ
先となった片岡和男・岡山
済生会総合病院長と福井秀
樹・国立岡山病院産婦人科
医長に対し、「ロシアに緊
急の医療援助が必要とな
り、AMDA(アジア医師
連絡協議会)を通じて病院
を紹介してもらった。研修
受け入れに大変感謝してい
る」とお礼を述べた。

二医師は東シベリアにあ
るザハ共和国の出身。経済
の悪化で医療機器や薬品が
不足しており、新しい医療
技術を学ばないと昨年十二月
初めから三週間、一人が岡
山済生会総合病院で麻酔
を、もう一人が国立岡山病
院で産婦人科医療を研修し
た。